

## 図書館ホームページの魅力 ③

図書館のホームページと聞くと、ただ蔵書の紹介や雑誌等のデータベースが存在しているだけのページだという印象があるのではないのでしょうか？いえいえ、そんなことはありません！まだよく見たことがないという方は、ぜひ一度のぞいてみてください。ホームページ一面に広がる情報量の多さに、きっとあなたも目を奪われるはずです。

私は最近図書館での学習の合間に、息抜きとしてホームページを閲覧します。そんな時ついつい目が行くのが、画面右下にある「京都から世界へ」の文字。私たちは京都という日本でも有数の観光都市で学生生活を送っています。言語や世界情勢を学ぶものとして日本自身に目を向けることは必須ですが、今自分たちが生活を送る京都という都市について深く知ることも、きっと各々の成長につながると思います。世界中から観光客が押し寄せる京都では、いつどこに異文化交流の機会が転がっているかわかりませんし、自分が学ぶ拠点としている京都について知っていることが増えれば、何か得たような気分になりませんか？このページは主に六つのコンテンツから成っていて、京都関連の和書のデータベースはもちろん、世界各国で出版された京都に関する資料のデータベースや、京都関係リンク集などもあります。京都の伝統や歴史についてデータベースから参考資料を探して閲覧するもよし、専攻言語で京都について学ぶもよし、京都散策に行く際の参考にするもよし。活用方法はあなた次第です。美しく歴史ある京都について、このページを通して見てみるのもいいのではないのでしょうか。

この他にも、「今、日本と世界は」というページでは私たちを取り巻く様々な出来事や話題について、日本国内のみならず世界の話題に関しても、見やすいトピックのページからすぐに資料の検索ができます。また過去の日本と世界の交流についての関連資料を検索することができますし、海外旅行に行く前にはとっっても参考になるページもあります。また、卒業された先輩方と図書館で共同制作されたという映画スクリプトのデータベース「あの映画・あの言葉」も、情報が豊富で素晴らしいものです。これらはきっとみなさんの学習にも役立つこと間違いなしです。

図書館では検索コーナーのパソコンを使用すればお目当ての本はすぐに発見できるので、ホームページをじっくり見るという機会はあまりないかもしれません。でもレポート作成や資料探しに疲れたとき、何か新しいことを発見したいときなど、少しホームページに寄り道をしてみてください。数々の本との出会いだけでなく、なにか思いもよらない新発見をその手に掴むことができるのではないのでしょうか。

英米語学科4年次生 頭師香那子